

# 七月例会御案内

〔令和五年・通算第七二三回〕

## 公益財団法人 協和協会

### ○ 御案内

七月二十日（木）〔午後一時入館可〕午後一時半～同三時半 参議院議員会館一階102会議室  
講 題 ロシアのウクライナ侵攻が我が国の防衛に与える影響（現場指揮官の思い）

講 師 田浦正人先生（元自衛隊北部方面総監部幕僚長―第七師団長―北部方面総監・陸将）

近年は、採り上げたい議題が山積しておりますので、五月の月例会に、出席した会員に「議題や講師について御意見を提起していただきました。その結果、橋本久義政策研究大学院名誉教授より「ぜひ講話を聞かれた方がよい」として、自衛隊にて北部方面総監として北海道防衛を丸二年担当された田浦正人元陸将を御推薦いただきました。

清原も、ロシアの侵攻によるウクライナ戦争がすでに一年以上継続しており、アジアにおいても北朝鮮による大陸間弾道弾の発射実験が頻発し、中国軍による台湾への威嚇が激しくなっている折から、極東地域において、ひょっとした弾みで戦争が勃発する恐れもあり、その場合にウクライナへのロシアの攻撃は、住民の住居・アパートにまで及び、まさに無差別攻撃であることから、もし外敵が日本を攻撃する場合も、同様、無差別爆撃になることを想い、自衛隊による我が国防衛への用意は出来ているのだろうか、心配です。

そこで今回は、かつてロシアなど外敵による北海道攻撃があった場合の防衛の総責任者であった田浦正人元陸将から実情をうかがい、また侵攻があった場合に備えて、政府への要望があればそれもうかがい、その上で、出席者一同にて、問題点を検討したいと考えております。  
奮っての御参加、お待ちしております。（清原記）

○ 出欠の返信欄は左頁をご覧ください。御出席者は、七月十七日（月）までに御投函下さい。

当日会費（昼食はなし） 会員は二千元、非会員の方は内容上、今回は御遠慮いただきます。

（公財）協和協会 月例会云 <http://www.kyowakyokai.or.jp>

七月二十日（木）の月例会に

出席 欠席（いずれかに○印を）  
電話 03-3581-1192  
FAX 03-3507-8587

御芳名

貴方様の FAX  
メール  
当日連絡先 080-8836-6203 重田  
080-9292-2620 高津  
（メール不可・通話のみ）

### ▽「公益財団法人 協和協会」とは

昭和四十九年、岸信介元総理によって創立された財団。活動趣旨は、「政党・派閥・利害・打算の次元を超えて、真に国家的課題を研究調査し、特に重要課題は、政府宛要請書を作って、時の政府へ提出する」ことにある。昭和五十四年から本格活動に入り、月例講話会の他に、八つの部会と五〇六の委員会を設置し、これまでに百三十八本の要請書を時の政府に提出している。

第二代会長は福田赳夫元総理、第三代会長は櫻内義雄元衆議院議長、第四代会長に塩川正十郎元財務大臣。第五代会長代行として江口一雄元衆議院議員。現在、第六代会長代行として岸信介創立会長の御孫・岸信夫氏が就任している。国会議員中は外務副大臣等々を経て、菅義偉内閣に続いて岸田文雄内閣にて防衛大臣を二年勤められた。大臣就任中は、決まりにより、会長の職務は、清原淳平執行理事に委任されていた。令夫人によると、いま体調回復に務めているので、会合に参加は出来ないのでは、引き続き清原執行理事にお任せし、体調回復に一層努力されている、とのこと。

▽事務局電話（03）3581・1192 代表理事兼執行理事・清原淳平、総務 重田、高津